

飯田高校同窓会報

画期的な総会計画成る

51年度事業計画案

定期総会の度毎に出席者の少ない淋しい状態を憂える声が何年も続いて来た。

昨年、七月に母校の文化祭として、七月に母校の文化祭と併せてやってみたら「魅力がない」「会場位置を市街地に移さねば駄目だ」と声はやっぱり変わらない。執行部にとっては頭の痛い問題である。名簿の発行を終えて幸いにも多少の経済的ゆとりも出たこの時こそ、魅力ある総会をと、総会実行委員会を挙げて原案を練ってきた。五月の幹事会を経て原案として認められたものである。

一、定期総会

◇八月二十二日(日)

◇飯田市文化会館

記念講演の講師として慶応大学教授の池田弥三郎先生を招くこととなる。

二、維持会費

この講演は一般公開として市教育委員会・地元新聞社の後援を得て、地域社会の人々に呼びかける予定である。講演の後で総会議事を開いて、より意義を高めてもらいたいと思います。

五十年年度決算では維持会費の納入額が五百四十万円余と高額になっているのは、名簿代が含まれているからであり、それにしてもこの実人員は三、六一四名であり、全体比は約三二%である。名簿が済むと維持会費の納入はぐっと減少するの

が一般であるから、此の際に一般各位に協力を訴えなければならぬと維持会費の委員会で、納入しやすいようにと、納入方法の一案として、「五千円で六年分とする」方法を今年四月より適用する案を提出している。しかし何よりも各回の幹事・評議員の方々から同級生にお願ひするようになっている。ただきたいということであり、その為には事務局から納入状況の連絡が出来るようにしておくことだということになった。

三、支部結成の促進と助成

五十年年度には、伊那市・長野市・松本市に支部が設立され、そして各支部とも地域を拡げて行きつつある。支部の助成は、総会の通信費に見合うものを差上げるといふことで、連絡のあ

第11号
発行所 飯田同窓会
印刷所 飯田印刷
編集 飯田印刷
発行 飯田印刷
長野県飯田市中吉飯

定期総会予告

- ◇ 期日 八月二十二日(日)
- ◇ 会場 飯田市文化会館
- ◇ 日程

一、記念講演

午後一時～二時十五分
講師 池田弥三郎先生(慶大教授)
演題 「日本人の心の傾き」
(一般公開とする)

二、総会

午後二時半～三時半

三、懇親会

午後三時半～四時
会費 二〇〇円
ビールパーティ

4月15日 独立記念日

【記念講演】 東京都立大学教授 稲垣 寛先生(高6回卒)
【演 題】 経済と経済学

たいという趣旨である。四、資料委員会 ゆくゆくは「同窓会史」とも言えるものが出来そうな資料を蒐集していきたいという目的で、本年度発

足したいというものである。既に以前から会報にもお願ひしたことがあるが、旧飯田中学・飯田高校の生活に関する写真とか、思い出とかを寄せていただいておりますが、更に組織的且つ体系的に蒐集整理して行く

とするものであり、委員会の話し合いの中から会報を通じて具体的な協力や報告のお願ひなどをして行きたいと思っております。

五、その他

一、会報の発行 二回 六月四頁 十月八頁
二、学校環境設備改善への協力
PTA・同窓会・学校の三者から成る「設備委員会」(昭四六年秋設立)があり、これの名によって協力しているものであり、本年度は校庭の遺跡発掘と造成作業に協力しつつあります。

三、住所不明会員の調査 各回で心掛けておられることと思うが、事務局とも連絡をとり、不明の解消に協力されたい。

文化祭のお知らせ

七月十七・八・九日の三日間開かれます。なお講演には幸田透先生が来て下さる予定です。

七月十七日 音楽コンクール・展示
七月十八日 展示・クラブ発表招待
七月十九日 試合等
分科会・講演会
ファイアーストーム

完歩率 90%を超える
第20回強歩大会

第二十回、恒例の強歩大会が、四月二十七日の夜を徹して行なわれ、天候に恵まれ、体調も良かったせいか完歩率九〇%を超える成功のうちに幕を閉じた。

ヨーロッパ旅行記

中27回 山下 喜助

飯田高校同窓会ヨーロッパ旅行の計画が発表されたが、会としては名目を貸しただけで主体は日通観光の営業企画だと聞かされ何か一抹の不満を感じながら参加したが、事実は参加者に可成りの満足を与えた充実したものであった。

三月二十八日羽田から南廻りで出発し、ギリシャ・イタリア・スイス・スペイン・フランス・イギリス・西独と廻り、北極を通過アムステルダム経由で四月十一日羽田に帰着した。

先ず人類文化発祥の地ギリシャではバルテノン神殿跡を見て二千五百年の歴史を経たとは云え、壮大な構築と優れた彫刻に、同時代の日本文化と格段の相違に驚きの目を見張った。これ一つだけでも此処まで来た甲斐を感じたが更にローマでは数々の古跡・発掘されたポンペイの廃墟・ミケランジェロの作品に埋まるシステイナ礼拝堂、何れも旅の疲れを忘れて唯啞然として見張るばかりだった。スイスのチューリッヒ飛行場で一行中のある老夫妻が先々で通貨の換算の変転に

悩まされた故であったのでしよう、買ったスライドをよく調べたら円に換算して七千円もすることに気がついて来た。怪しげな英語でキヤンセルを訴えてみたが売店の少女は否と答えただけ、その信念に圧倒され二人とも呆れて遂に引き下ってしまった。スイスという国はスリも無く誠に清らかな国だと聞いていたので、この日本人にとって理解に苦しむ態度に就いて引率者に聞いてみた。人と人とが約束で取引すればそれで一切が完了、破談に陥ることにこそ罪意識を感じるスイス人の潔癖さではないだろうかと説明され、国によって考えの違いを知らされた。

スペインのブラド美術館でベラスケス・ゴヤ・グレコの絵画に堪能した後、古都トレドの街を歩いてタイムトンネルのような夢の驚きを感じた。日本の明治村は百年前の建物を集めた観光施設で人は住んでいない。ここトレドは千五百年前の街がそのまま古い城壁と天然の堀となる川に囲まれた中世の要塞の街、二万人の

大正九年卒 中第十九回

宮島 好堅

三。旅はよき友に恵まれる程楽しいものだ。今度の旅行は飯田高校と大阪市立大学の同窓会、それに電々公社の関係者が一組となったので知的水準、語学共平均に高く、中には歴史美術の専門家もおられたお蔭で楽しい旅が出来たことは大変幸いであった。ローマの郊外で校歌「赤石山」と応援歌を斉唱した感動は一生忘れ得ない思い出となりましょう。今後同窓会がこの様な計画を立てるのを望んでいる会員も多いのではないのでしょうか。外国と交流なしに生きられない吾が国からみて、どしどし外国と交

時・昭和五十年十月二十日 六日 所・三重県志摩郡安来・志洲閣

当日飯田発六時半、中央道にて九時十五分に名古屋着、十時五十分発の近鉄で鶴方下車、ハイヤーで志洲閣へ三時頃着、一番乗り。暫くして級友続々到着、既に七十三、四才になってい

それには北原・宮島の計十二名、今回は常連の欠席が多く残念であった。

志洲閣は太平洋に面した断崖上にあり眺望佳く、脚下に砕ける汐の香にむせ返るばかり。我知らず二人三人と誘い合って坂を下りて浜辺に行く。太陽が折しも漸く斜に射す磯辺に立って思わず両手を挙げて深呼吸、胸一杯の海の香のうまさ、ふと口づさむ「浜辺の歌」……空と水と溶けあって、その中へ自分も吸いこまれて行く……

らみて、どしどし外国と交流を深め外国人のものの考え方(先のチューリッヒでのように)を理解することが必要と思う。それには先ず国際的マナーを身につけて行くことが一番大切だと強く感じた。(旅行中外国人に一齐に笑われて冷汗をかいたことが二回あった)

- 参加者(同窓関係)
- 長谷部 勝(中21回)
 - 小林 吉公(中22回)
 - 杉本 謙(中24回)
 - 滝川 重人(中26回)
 - 山下 喜助(中27回) 夫妻
 - 小沢 隆治(中34回) 夫妻
 - 近藤みどり
 - (中26回 見氏夫人)
 - 木下 君子
 - (中25回 忠佐氏夫人)
 - 鈴木 真一(高6回)
 - 吉沢 正明(中31回)
 - 小林和子(吉沢正明氏親戚)
- 以上十三名

寄贈品紹介

- ① 武田太郎著 写真集「折口信夫紀行」五〇一〜二五二
- ② 写真集「天竜川」
- ③ 雑誌「短歌」 三月号 五二〜五八
- ☆ 新井智氏(中43)より寄贈
- ④ 新井智著「聖書を讀むために」
- ⑤ 〃 〃 「聖書・その歴史的事実」
- ④⑤ 五二〜五八



支部たより

松本

二月七日松本市信州会館において設立総会が開催され、招かれて吉沢校長先生と事務局の熊谷が出席した。昨年冬から湯沢勝氏(中43回)が奔走され発起人交渉から発起人会を重ね、今日に至るまでの関係者の御苦勞を思わずには居られない。本日の印刷物も、支部規約案・百二十余名の名簿・返信の集録など、熱意と御努力に敬意を表する次第である。

総会のあり方が一種趣があるで紹介すると、一、開会の辞、二、校歌斉唱、三、世話人代表挨拶、四、自己紹介、

五、祝辞、六、議事 (1) 経過報告、(2) 支部規約、(3) 役員選出、(4) その他、七、懇親会とある。出席者三十四、

五名の自己紹介だけでも一時間半かかる。役員選出では、支部長清水悟郎氏(中21回)、副が新井芳実氏(中25回)と金沢博夫氏(高5回)、幹事長・湯沢勝氏(中43回)、幹事は松本市を十二地区に分けて夫々の地区に各一名づつとして連絡を円滑にするという組織である。若干の支部費を徴収するというから適宜な体制と思われる。遅刻して見えた方もあったから人数は定かではないが、最年長の木下六郎氏の中17回から、最年少は高21回の小倉明義氏か

と思われるが、年齢差五十才以上という組み合わせが不自然なく溶け合せて汲み交わし、恐らく殆んどの人がこれが最初の出合いであろうに、此の時を待ち望んでいたという喜びの色を浮べて何とも言えない素晴らしい人間模様であった。此の会が回を重ねる毎に親密度が深まって行った時を想像して、同窓会という歴史的存在の妙味に感動させられたのであった。高歌放吟の域にまで高揚されたところで、車を駅に走らせなければならなかった。支部会員諸氏の御健闘を祈って筆を止める。

熊谷利作(中29回)
×××

長野

二月十二日(日)長野市長水会館で開催、県職の方々が中心になって設立準備をして来られ、善光寺平から上田方面までも含め、又母校の旧職員をも含めたもので、三百通近くの通知を出したという大きな支部の設立総会である。もっとも当初は準備会の予定だったと聞くが、それでも六十余名の出席だったという。県庁関係の同窓会は前々から行なわれていたものであるが、今回その地域を拡大したもので、威勢のよいスタートを切り、今後の発展が期待されている。(熊谷記)

川路

去る三月二十四日天竜峡ホテルで総会が開かれた。本部から中島会長先生の出席をいただき、中9回の清水直次郎氏の最長老をはじめとして、集まる者二十七名、前回にまさる盛会であった。中島会長先生の祝辞に加えて同窓会の現況や希望等述べられ、続いて全員の自己紹介、任期満了に伴う役員改選について、安藤幹事長司会の下で、竜江支部との交流を持ちたいこと、会費年百円位徴収して運営の円滑を計ることなど提案され、協議の結果

事務的なことは役員に一任となった。それから宴会に移った。川路に事業所があり、其所に勤務されている方達も参加して、皆和気藹々裡に進行し、老人も若者も一体となつて時の移るのも知らぬ程で、全く有意義な愉快な一夜であった。

要するに此の会は、若者達は自他共に認めるエリートとして郷土をはじめ社会の各方面で全幅の活躍をしておるし、老人は嘗って郷里の為に努力し、今は後進の活躍に大きな期待を寄せており、このような組織の持つ意義の深いことを改めて認識した次第である。

支部長・熊谷治郎(中18)

白球を追って



〔北信越野球県ベスト8へ進出〕

苦しく厳しい冬季練習を積み重ねてきた野球部は、桜の花とともにその成果を開花させた。春季地区リーグでは長姫・天竜を相手にせず昨年につづいて連続優勝を勝ち取り、北信越大会では、一挙に飯工・諏訪・清陵・下農を粉砕し、県のベスト8の座に三年ぶりに復帰した。県大会では前評判の高い長野工業と対決し8対6の打撃戦で惜敗した。



〔全国大会連続出場成る〕

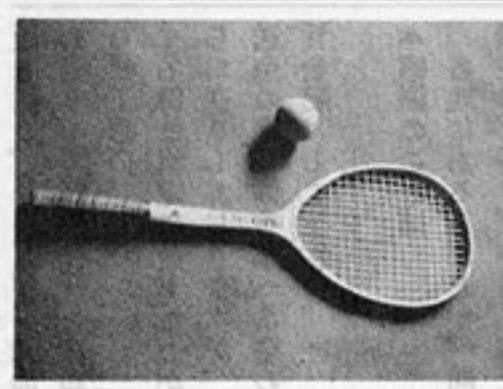
この4試合で39点を叩き出した強力打線は、投手力の向上、守備の安定とともに夏が期待されている。春の北信越五県大会への最近の成績は、45年に県代表・48年南信代表。なお今年は内部通信「開魂」が発行されている。

五月二十二日から二十四日、松本市で開かれた高校総体県大会において、団体戦で二位、個人戦で優勝し、いずれも全国大会への出場権を獲得した。経過は次の通りである。

- ・南信大会 (団体戦) 二位(一位赤穂)
- ・個人戦) 今村・松島組 優勝
- 今村・松島組 優勝
- 北沢・宇佐美組 三位
- 塩沢・松下組 1位
- ・以上県大会出場
- ・県大会 (団体戦) 二位
- 一回戦 3-0 北佐久農
- 二回戦 2-0 大町
- 準決勝 2-1 長野
- 決勝 1-2 美須ヶヶ丘
- (個人戦) 今村・松島組
- 決勝 4-0 上田

以上の結果、団体および個人一チームが、七月十七、十八日に富山県高岡市で開

かれる北信越大会と、八月一日から四日にかけて松本市で開かれる全国大会に出場することが決定した。団体戦の二年連続出場と、三十三年度の直井・棚田組以来の個人戦の優勝は近來にない快挙である。



(庭球部顧問・徳原記)

「強豪」水口高校を迎えて

—サッカー部—

中央道開通を機会に、本校サッカー部と滋賀県の強豪、水口高校(旧甲賀高校)との交流の話が同窓会を通じてあり、昨年の十一月二十三日・二十四日の両日、本校に於て第一回の定期戦が行なわれた。これは本校サッカー部OBである木下修二郎さん(高二回卒・大津市在住)の勧めによるもので、同窓会・サッカー部OBなどの御協力を得て実現の運びとなった。サッカーに詳しい方は、甲賀高校という名称で知っている方も多

くことが必要と強く思った。一方、OB戦の近江クラブ(水口高校OBが中心)のプレーを見て、そこから学ぶべき点も多くあったようだ。特に状況判断の良さ、一対一のかけひきなど相手プレイヤーとの対応のしかたに質の高い、大人のプレーがみられ勉強になったように思う。

試合は現役戦・OB戦それぞれ二試合ずつ行ない、現役戦は、3-1・2-1で飯田の二戦二敗という結果に終わった。水口高校は新チーム結成以来まだ日が浅いと聞いていたが、点を取り型を持っており、さすがにチャンスに点を取るのうまいと感じた。また個人技の点でも、ボールコントロールの正確さ、一対一の強さ、当たりの強さなどが特に目についた。飯田としては、やはり個人技のレベルアップから出発してい

る六月五・六日行なわれた県高校陸上競技大会に於て一五〇〇米40分9秒3五〇〇米15分24秒2(大会新)でそれぞれ優勝六月二十五・二十七日福井で行なわれる北信越大会の出場権を得た。この大会でも五〇〇米優勝、一五〇〇米入賞を目指し練習に励んでいる。来る八月一日からの

部OB諸氏に対し感謝するとともに、今後とも御協力と御援助を御願ひする次第です。

(サッカー部顧問 石田義雄記)



水口高校より

陸上・高野 五〇〇〇M大会新

去る六月五・六日行なわれた県高校陸上競技大会に於て一五〇〇米40分9秒3五〇〇米15分24秒2(大会新)でそれぞれ優勝六月二十五・二十七日福井で行なわれる北信越大会の出場権を得た。この大会でも五〇〇米優勝、一五〇〇米入賞を目指し練習に励んでいる。来る八月一日からの

版を送り、その返戻が52冊心当りの方は新住所をお知らせ下さい。

名簿は規定に達した方からお送りしておりますが、送金の際、備考欄へ希望の旨を記入して下さい。

▲感謝のことは

各地にある支部とか、同級生のグループから名簿を届けて下さり、大助かりです。又住所の変った連絡を下さる方がこの頃ぐんとふえて来て感激しております。又来訪下さる方も多く、激励下さり、感謝しております。

編集後記

会員の皆様、御健勝にてそれぞれ御活躍のこととお喜び申し上げます。同窓会報十一号が出来ました。御覧下さいと思います。新しいグラウンドの校地整備も考古学上の発掘の為多少おくれてはおりますが着々と進んで居ります。総会は、実行委員会の御骨折りにより、慶大教授池田弥三郎先生の講演をお願いし、大規模に開かれる計画が立てられました。是非奮って御出席下さって盛り上げて頂くようお願い申し上げます。在校生諸君も一学期の期末考査が終りますと、高松祭の準備で多大忙となり、校内も賑かになります。先輩の皆様も、しばしば飯田中学・飯田高校在学の頃に想いを馳せられ、母校に絶大な御支援を賜ります様切にお願い致します。

50年度の進路状況

〔大学合格者人数〕

(現・浪を合算)

①国立一期校	奈良女子大	4	電通大	1
北大	鳥取大	1	東京学芸大	1
東北大	岡山大	2	東京農工大	1
筑波大	広島大	1	東京外語大	1
千葉大	(計)	67	横浜国立大	5
お茶の水女大			富山大	1
東大	②国立二期校		山梨大	4
東工大	旭川医大	1	信大	21
新潟大	弘前大	1	静岡大	9
沢大	秋田大	3	名工大	5
浜松医大	宮城教育大	2	岐阜大	3
名大	茨城大	3	大阪教育大	1
三重大	宇都宮大	1	大阪外語大	1
京大	埼玉大	3	(計)	68

③公立大	(計)	13
④私立大	(計)	361
④短期大	(計)	43

〔就職〕

	男	女	計
就職者	6	3	9
上記県内	4	3	7
〃 県外	2	0	2

浪人学級

講師の先生方の一方ならぬ御骨折りにより、浪人教室も今春好成绩を取めることが出来ました。今年も五十余名の多数の希望者があり、開講式を五月六日(木)に行ない今年もスタートしました。閉講式は十一月二十九日(月)の予定です。

講師は市瀬先生(英語)、小林先生(数学)、鶴崎先生(国語)と御立派な先生方に今年も御指導を賜わることが出来まして関係者一同よろこんで居ります。月水金と講義がなされます。受講者諸君の健闘を祈るものです。

▲維持会費と送金
○維持会費納入明細書は、会報送付の度毎に差上げれば宜しいと思えますが、手不足で春だけに致します。振替用紙の必要でない方にも入っておりますが、御諒承下さい。中13回までの先輩には明細書を差上げませんし、維持会費の請求は致しません。

○送金の際必ず回数を御記入下さい。又住所の変った時には備考欄へ一言書き添えて下さい。

▲名簿の残部 三〇〇部
名簿をお送りして返戻が64冊、うち48冊はまだ届けられない。又四月上旬改訂